

臨床研究へのご協力をお願い

東京医科大学茨城医療センター消化器外科では、下記の臨床研究を東京医科大学医学倫理審査委員会の審査を受け、学長の承認のもと実施いたしますので、研究の趣旨をご理解いただきご協力をお願いいたします。

この研究の実施にあたっては患者さんの新たな負担(費用や検査など)は一切ありません。また個人が特定されることのないように患者さんのプライバシーの保護には最善を尽くします。

この研究の計画や研究の方法について詳しくお知りになりたい場合や、この研究に検体やカルテ情報を利用することを了解いただけない場合などは、下記の「問い合わせ先」へご連絡ください。ご連絡がない場合には、ご同意をいただいたものとして研究を実施させていただきます。

[研究課題名]

進行再発胃癌に対する化学療法に対する評価の検討

[研究の背景と目的]

進行胃癌は、転移・再発を来すことが多い癌です。その際に化学療法が有用な手段ですが、実際には化学療法の選択肢は広いとため、様々な条件による実際の効果や副作用が明らかになることは重要です。進行再発胃癌において、当院で化学療法を施行した方の背景や化学療法の効果、副作用、予後について検討します。

[研究の方法]

対象となる方

2010年1月1日から2023年12月31日までに東京医科大学茨城医療センター消化器外科、消化器内科で、進行再発胃癌として化学療法を施行した方

研究期間

倫理審査承認日から 2026年3月31日

利用する検体やカルテ情報

カルテ情報からの診療情報や採血、画像データの抽出

検体や情報の管理

研究責任者は、本研究に関わる情報を、少なくとも、研究終了報告日から5年または最終の研究結果報告日から3年のいずれか遅い日まで保管し、その後は個人情報に注意して廃棄します。

[研究組織]

【研究責任者】

鈴木 修司 東京医科大学消化器外科学分野 主任教授

[分担研究者]

下田 貢 東京医科大学消化器外科学分野 准教授

島崎 二郎 東京医科大学消化器外科学分野 准教授

渡邊 充 東京医科大学消化器外科学分野 助教

[個人情報の取扱い]

研究実施に係る情報を取扱う際は、研究対象者の個人情報とは無関係の符号又は番号との対応表を作成のうえ、どの研究対象者の情報であるかが直ちに判別できないよう匿名化して管理し、研究対象者の秘密保護に十分配慮します。対応表は本研究に一切関与しない本学消化器外科学分野 鈴木修司の下で管理されます。研究結果は、研究対象者にプライバシー上の不利益が生じないよう、適切に匿名化されていることを確認したうえで公表を行い、研究の目的以外に、研究で得られた研究対象者の情報を使用いたしません。

[問い合わせ先]

研究責任者:東京医科大学茨城医療センター 消化器外科

主任教授 鈴木 修司

研究内容の問い合わせ:東京医科大学茨城医療センター 消化器外科医局

鈴木 修司

電話:029-887-1161(応対可能時間:平日9時~16時)